

体育科学習指導案（3年〇組・4年〇組合同体育）

平成24年9月14日（金）～10月12日（金）

於：校庭 指導者 小林 昌行

1 単元名 「ボール投げの名人になろう！」

※運動領域：体づくり運動(多様な動きをつくる運動)－(ウ)用具を操作する運動－

2 考察

(1)教材観

①運動の特性

体づくり運動での多様な動きをつくる運動は、体のバランスをとったり移動したりする動きや、用具を操作したり、力試しをしたりする動きを意図的にはぐくむ運動を通して、体の基本的な動きを総合的に身に付けることをねらいとして行う運動である。また、用具を操作する運動の「投げる」動きは、ボールなどの用具を使って、体を動かすことの楽しさや心地よさを味わうことのできる運動である。

「投げる」という運動（投運動）は、人間にしか見られない運動であり、人間らしい運動の一つであるとも言える。投げる動作は、5歳～12歳頃までに著しい発達をみる。そのうち特に、7歳～9歳頃までに投げる動作はほぼ完成し、それ以降の投の距離の伸びは、体格や体力の発達によるものとなる。

また、現代の生活の中では、「投げる」という行為そのものが制約されることが多く、投運動のもつ本質的な楽しさを味わうことが難しくなっている。

②児童から見た特性

児童にとって投運動は、ボールなどを思い切り投げることができると楽しい運動であり、投げたい方向に投げられると楽しい運動である。しかし、思うように投げられないと楽しくない運動であり、投げる目的がはっきりしなかったり、投げ方が分からないと楽しくない運動でもある。特に、友達と一緒にできるとより楽しめる運動であり、いろいろな工夫をするのが楽しい運動でもある。

(2)児童の実態（3年男子4名、3年女子3名、4年男子5名、4年女子3名 計15名）

〔運動への関心・意欲・態度〕

3・4年児童は、運動を好む児童が多い。男女の仲も良く、男女分け隔てなく運動することができる。特に、ボールを投げる運動を好きな児童は12名いて、投の要素を含むドッジボールなどのゲーム運動は意欲的に行う。しかし、勝敗などに固執しがちな児童もいて、投運動のもつ本質的な楽しさを味わうことができていない児童も多い。

〔運動についての思考・判断〕

3・4年児童で、体育の授業において、自分のめあてを立てて学習している児童は3名と少ない。「どうしたら運動が上手になるか？」と考えながら学習している児童は10名いるものの、ボールを力強く（強く・速く・遠くへ）投げるポイントが分かっている児童は少ない。しかし、児童で互いに見合ったり教え合ったりしながら、運動や練習を工夫しようとする児童は多い。

〔運動の技能〕

3・4年児童のソフトボール投げの平均記録は14.2mである。4年男子の児童の中にソフトボールを20m以上投げる児童が2名いるものの、10m以下という記録の児童も5名いる。特に、女子の投げる能力は低く、ボールを思いどおりに投げることができないと自覚している児童も多い。休み時間や放課後に投の要素を含む運動を行っている児童は少なく、投げる動作の習得は十分に図られていない。

3 単元の目標

●ボールを力強く投げる力を身に付け、ボールを強く・速く・遠くへ投げることができるようにする。

4 授業中における生徒指導

- ・投運動のもつ本質的な楽しさを味わうことができるよう、児童の実態に応じたグループ編成を行うとともに、安全に気を付けながら工夫して運動しようとする態度を育てていく。
- ・3年〇組は、特別な支援が必要な児童（女子1名）の協力学級である。対象児童への運動上の特別な支援を図るとともに、皆で協力して、楽しく運動しようとする態度を育てていく。

5 指導と評価の計画

学年	過程時間	主なねらい・学習活動	学習活動に即した評価規準（評価方法）		
			関心・意欲・態度	思考・判断	技能
第3・4学年	事前	<p>●ソフトボールを投げる力を測定してみよう！</p> <p>■集合、整列し、挨拶をする。 ■準備運動、補助的な運動をする。 ■本時の学習課題を確認する。 ■学び合い活動（活動1） ①測定方法を知る。 ②練習をする。 ■やってみる活動（活動2） ①4年生の記録を測定する。同時に投動作の撮影を行う。 ②3年生の記録を測定する。同時に投動作の撮影を行う。 ■整理運動、まとめをする。</p>			・今もっている技能で、ソフトボールを投げるができる。（観察）
	導入	<p>●ボールを力強く投げるためのより良い動きを知ろう！</p> <p>■集合、整列し、挨拶をする。 ■準備運動、補助的な運動をする。 ■本時の学習課題を確認する。 ■学び合い活動（活動1） ①投動作を写真で比較する。 ②投動作を動画で比較する。 ■やってみる活動（活動2） ①かべぶつけ運動をする。 ②的当て運動をする。 ■整理運動、まとめをする。</p>	・ボールを力強く投げるための動きを知り、自己課題を見付け、見通しをもって追究しようとしている。（学習カード、観察）		
展開	3	<p>●ボールを強く・速く・遠くへ投げるための工夫をしよう！</p> <p>■集合、整列し、挨拶をする。 ■準備運動、補助的な運動をする。 ■本時の学習課題を確認する。 ■学び合い活動（活動1）</p>		・力強く投げるための投動作の基礎感覚を考え、互いの動きを見合ったり教え合ったりしなが	
		<p><指導方針></p> <p>・学習のはじめとして、新体力テストの「ソフトボール投げ」の記録測定が行えるようにするとともに、児童一人一人に今現在の自己の投げる力を把握させるようにする。 ・記録測定を行いながら同時に投動作の撮影を行い、今後の学習に生かせるようにする。</p>			
		<p><指導方針></p> <p>・前時に撮影した児童の投動作の写真を学習カードに貼り付けて配付し、示範による動きと自分や友達の動きを比較する学び合いを行いながら、動きの違いに気付かせるようにする。 ・高学年児童の投動作の様子をビデオで視聴し、上手な点について話し合いながら、手足の動きとステップの有無などにも着目して比較できるようにする。 ・やってみる活動（活動2）は、投動作の基本的な技能（一歩前に踏み出して投げる）の習得を目的として行えるよう設定する。</p>			

		<p>①投動作を言語化（オノマトペ化）する。</p> <p>■やってみる活動（活動2）</p> <p>①強く投げる運動をする。－バウンド投げ－</p> <p>②速く投げる運動をする。－スローイン投げ－</p> <p>③遠くへ投げる運動をする。－フライング投げ－</p> <p>■整理運動、まとめをする。</p>	<p>ら、練習を工夫している。 (学習カード、観察)</p>
		<p><指導方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前調査による「児童がもつ共通の三つの基礎感覚」を確かめながら学び合いを進め、力強く投げるためのポイントとして児童に伝える。 ・やってみる活動（活動2）の三つの場は、児童が互いに見合ったり教え合ったりしながら、活動できるように設定し、強く・速く・遠くへを意識した投運動ができるようにする。 	
終末	4	<p>●友達といっしょに動きを確かめながら、ボールを投げよう！</p> <p>■集合、整列し、挨拶をする。</p> <p>■準備運動、補助的な運動をする。</p> <p>■本時の学習課題を確認する。</p> <p>■楽しむ活動（活動2）</p> <p>①リズムを互いに確かめながら運動する。</p> <p>②フォームを互いに確かめながら運動する。</p> <p>■整理運動、まとめをする。</p>	<p>・投動作のリズムやフォームを確かめながら、ボールを力強く（強く・速く・遠くへ）投げることができる。(観察)</p>
		<p><指導方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の場は、前時の活動の三つの場と同じ場を設定し、児童が互いに見合ったり教え合ったりしながら、投運動を繰り返し行えるようにする。また、投動作のリズムとフォームを意識して取り組めるようにし、投動作の習熟が図れるようにする。 ・三つの場は、児童の実態に応じて柔軟に工夫し、児童一人一人が投運動のもつ本質的な楽しさを味わうことができるようにする。 	
事後	5	<p>●ソフトボールを投げる力を測定してみよう！</p> <p>■集合、整列し、挨拶をする。</p> <p>■準備運動、補助的な運動をする。</p> <p>■本時の学習課題を確認する。</p> <p>■学び合い活動（活動1）</p> <p>①測定方法を知る。</p> <p>②練習をする。</p> <p>■やってみる活動（活動2）</p> <p>①4年生の記録を測定する。同時に投動作の撮影を行う。</p> <p>②3年生の記録を測定する。同時に投動作の撮影を行う。</p> <p>■整理運動、まとめをする。</p>	<p>・今もっている技能で、ソフトボールを投げるができる。(観察)</p>
		<p><指導方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のまとめとして、新体力テストの「ソフトボール投げ」の記録測定が行えるようにするとともに、児童一人一人に今現在の自己の投げる力を把握させるようにする。 ・記録測定を行いながら同時に投動作の撮影を行い、学習前と学習後の変容を把握できるようにし、今後の学習に生かしていく。 	

6 本時の学習（第1／5時） ※9／14（金）13:50～14:35

(1)ねらい ・友達と協力して、安全に気を付けながら記録測定ができるようにする。

（運動への関心・意欲・態度）

・ソフトボール投げの測定方法を知り、記録が伸びる方法を考えることができるようにする。

（運動についての思考・判断）

・今もっている技能で、ソフトボールを投げることができるようにする。（運動の技能）

(2)準備 1号ボール、メジャー、ラインカー、学習カード、デジタルカメラ、三脚

(3)展開 (◆は「おおむね満足できる」状況、◇は「十分満足できる」状況)

学習活動	時間	指導上の留意点及び支援・評価
<p><本時の課題をつかむ></p> <p>1 集合、整列し、挨拶をする。</p> <p>2 準備運動や補助的な運動をする。</p> <p>3 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ソフトボールを投げる力を測定してみよう！</p> </div>	5分	<ul style="list-style-type: none"> 健康観察をする。 前時までの学習を振り返り、活動内容を確認する。 単元及び本時の活動について説明し、本時の活動の見通しをもたせる。
<p><技能や知識を習得する活動を行う></p> <p>4 学び合い活動（活動1）</p> <p>①測定方法を知る。</p> <p>②練習をする。</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> 新体力テストの要項のとおり、ソフトボール投げの行い方や注意点を説明する。 この測定は現在の自己の投げる力を把握するために実施し、今回は一人一人の投動作を撮影することを伝える。 記録が伸びる方法を自分なりに考えながら、練習に取り組むよう助言する。 練習は、二人～三人一組でキャッチボールを行い、思い切り投げる準備をしっかりと行わせる。
<p><習得した技能や知識を活用する活動を行う></p> <p>5 やってみる活動（活動2）</p> <p>①4年生の記録を測定をする。同時に投動作の撮影を行う。</p> <p>②3年生の記録を測定をする。同時に投動作の撮影を行う。</p>	25分	<ul style="list-style-type: none"> 皆で協力して、安全に気を付けながらソフトボール投げの測定を行うよう助言する。また、4年生が投げる時は、3年生がボール拾いをすることや、3年生が投げる時は、4年生がボール拾いをすることを明確に伝える。 投げる順番を待っている時は、投げている友達を応援したり、励ます声かけをするよう助言する。 デジタルカメラでの撮影は教師が行い、2回投げる児童の姿を一人一人連写で撮影し、今後の学習に生かせるようにする。 自己の記録は、学習カードに記入して、自分もっている技能（記録）を把握できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>（評価項目）</p> <p>◆今もっている技能で、自分なりにソフトボールを投げることができる。</p> <p>◇今もっている技能を出し切って、ソフトボールを投げることができる。 【運動の技能】（観察）</p> </div>
<p><本時のまとめをする></p> <p>6 整理運動、まとめをする。</p> <p>・本時における自己の学習について振り返り、学習カードに本時で学んだこと、できたことなどを記入するとともに、次時の学習内容について確認する。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習の充実感が味わえるように、全員のがんばりを賞賛する。 学習カードの自己評価欄に、本時の自己評価と学習の成果を記述させることにより、本時の学習での自己の高まりを振り返ることができるようにするとともに、次時の学習の見通しをもたせる。

本時の学習（第2／5時） ※10／1（月）11:35～12:20

(1)ねらい ・ボールを力強く投げるための動きを知り、自己課題を見付けて、見通しをもって追究ができるようにする。(運動への関心・意欲・態度)

・動きの違いに気付き、ボールを力強く投げる動きの練習が工夫してできるようにする。
(運動についての思考・判断)

・力強く一歩踏み出して投げることができるようにする。(運動の技能)

(2)準備 ボール、的、ラインカー、パソコン、ホワイトボード、学習カード

(3)展開 (◆は「おおむね満足できる」状況、◇は「十分満足できる」状況)

学習活動	時間	指導上の留意点及び支援・評価
<本時の課題をつかむ> 1 集合、整列し、挨拶をする。 2 準備運動や補助的な運動をする。 3 本時の学習課題を確認する。 ボールを力強く投げるためのより良い動きを知ろう！	5分	・健康観察をする。 ・前時までの学習を振り返り、活動内容を確認する。 ・単元及び本時の活動について説明し、本時の活動の見通しをもたせる。
<技能や知識を習得する活動を行う> 4 学び合い活動（活動1） ①投動作を写真で比較する。 ②投動作を動画で比較する。	10分	・児童の投動作の写真を貼り付けた学習カード（投動作チェックシート）を配付し、教師による示範の動きと自分や友達の動きを比較する学び合いを行う。 ・高学年児童の投動作の様子をビデオで視聴し、上手な点について話し合うとともに、手脚の動きとステップの有無などに着目して、投動作を比較する学び合いを行う。 ・活動1を通して、自分の課題を発見し、これからの学習の見通しをもてるようにする。 (評価項目) ◆ボールを力強く投げるための動きを知り、自己課題を見付け、見通しをもって追究しようとしている。 ◇ボールを力強く投げるためのよりよい動きを知り、進んで自己課題を見付け、見通しをもって追究しようとしている。 【運動への関心・意欲・態度】(学習カード、観察)
<習得した技能や知識を活用する活動を行う> 5 やってみる活動（活動2） ①かべぶつけ運動をする。 ②的当て運動をする。	25分	・活動2では、投動作の基本的な技能（一歩前に踏み出して投げる）の習得を目的とした簡易な二種類の投運動が行えるよう場を設定する。 ・児童が「やってみたい」と思う場を工夫して設定するように心がける。 ・各運動の行い方は十分説明してから行うようにする。 ①かべぶつけ運動は、少しずつ距離を遠くする。 ②的当て運動は、的をめがけてボールを投げる運動を繰り返し行い、合計得点を競えるようにする。 ・片付けは児童相互で協力して行えるように指示を明確に示すようにする。
<本時のまとめをする> 6 整理運動、まとめをする。 ・本時における自己の学習について振り返り、学習カードに本時で学んだこと、できたことなどを記入するとともに、次時の学習内容について確認する。	5分	・本時の学習の充実感が味わえるように、全員のがんばりを賞賛する。 ・学習カードの自己評価欄に、本時の自己評価と学習の成果を記述させることにより、本時の学習での自己の高まりを振り返ることができるようにするとともに、次時の学習の見通しをもたせる。

本時の学習（第3／5時） ※10／3（水）13:50～14:35

(1)ねらい ・ボールを強く・速く・遠くへ投げるための工夫を考え、進んで練習ができるようにする。
 (運動への関心・意欲・態度)

・力強く投げるための投動作の基礎感覚を考え、互いの動きを見合ったり教え合ったりしながら、練習を工夫してできるようにする。(運動についての思考・判断)

・ボールを力強く（強く・速く・遠くへ）投げるができるようにする。(運動の技能)

(2)準備 ボール、学習カード、オノマトペカード、ホワイトボード、踏切板、ネット、ロープ

(3)展開 (◆は「おおむね満足できる」状況、◇は「十分満足できる」状況)

学習活動	時間	指導上の留意点及び支援・評価
<本時の課題をつかむ> 1 集合、整列し、挨拶をする。 2 準備運動や補助的な運動をする。 3 本時の学習課題を確認する。 ボールを強く・速く・遠くへ投げるための工夫をしよう！	5分	・健康観察をする。 ・前時までの学習を振り返り、活動内容を確認する。 ・単元及び本時の活動について説明し、本時の活動の見通しをもたせる。
<技能や知識を習得する活動を行う> 4 学び合い活動（活動1） ①投動作を言語化（オノマトペ化）する。	10分	・ボールを投げる一連の動きが分かる資料を掲示して、共通の基礎感覚を確かめながら学び合いを進める。基礎感覚は、オノマトペで表現して児童に伝えるようにする。 ・学び合いが深まったところで、学習カード（投動作チェックシート）にオノマトペカードを貼り付けて、自分の投動作を言語化し、「力強く投げるためのポイント」として児童に伝えるようにする。
<習得した技能や知識を活用する活動を行う> 5 やってみる活動（活動2） ①強く投げる運動をする。 ーバウンド投げー ②速く投げる運動をする。 ースローイン投げー ③遠くへ投げる運動をする。 ーフライング投げー	25分	・オノマトペ化した投動作を見合ったり教え合ったりしながら練習できる時間として、やってみる運動（活動2）を設定する。 ・活動2では、強く・速く・遠くへを意識した簡易な投運動が行えるようにする。また、以下の三つの場で学習が行えるように場を工夫して支援する。 <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 【三つの場】 ①ボールを強く投げる必要がある場 ②ボールを速く投げる必要がある場 ③ボールを遠くへ投げる必要がある場 </div> ・二人～三人一組で三つの全ての場で運動することができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> (評価項目) ◆力強く投げるための投動作の基礎感覚を考え、互いの動きを見合ったり教え合ったりしながら、練習を工夫している。 ◇力強く投げるためのよりよい投動作の基礎感覚を考え、進んで互いの動きを見合ったり教え合ったりしながら、練習を工夫している。 【運動についての思考・判断】(学習カード、観察) </div>
<本時のまとめをする> 6 整理運動、まとめをする。 ・本時における自己の学習について振り返り、学習カードに本時で学んだこと、できたことなどを記入するとともに、次時の学習内容について確認する。	5分	・本時の学習の充実感が味わえるように、全員のがんばりを賞賛する。 ・学習カードの自己評価欄に、本時の自己評価と学習の成果を記述させることにより、本時の学習での自己の高まりを振り返ることができるようにするとともに、次時の学習の見通しをもたせる。

本時の学習（第4／5時） ※10／5（金）13:50～14:35

- (1)ねらい ・ボールを力強く（強く・速く・遠くへ）投げるための練習を児童相互で繰り返し取り組めるようにする。（運動への関心・意欲・態度）
 ・投動作の大切な基礎感覚や動き、リズムやフォームを互いに見合ったり教え合ったりしながら、練習を工夫してできるようにする。（運動についての思考・判断）
 ・投動作のリズムやフォームを確かめながら、ボールを力強く（強く・速く・遠くへ）投げることができるようにする。（運動の技能）
- (2)準備 ボール、学習カード、ホワイトボード、踏切板、ネット、ロープ
- (3)展開 (◆は「おおむね満足できる」状況、◇は「十分満足できる」状況)

学習活動	時間	指導上の留意点及び支援・評価
<本時の課題をつかむ> 1 集合、整列し、挨拶をする。 2 準備運動や補助的な運動をする。 3 本時の学習課題を確認する。 友達といっしょに動きを確かめながら、ボールを投げよう！	5分	・健康観察をする。 ・前時までの学習を振り返り、活動内容を確認する。 ・単元及び本時の活動について説明し、本時の活動の見通しをもたせる。
<習得した技能や知識を活用する活動を行う> 4 楽しむ活動（活動2） ①リズムを互いに確かめながら運動する。 リズムを確かめるポイント →ワン・ツー・スリーのリズムで投げているか ②フォームを互いに確かめながら運動する。 フォームを確かめるポイント →大きくふりかぶって投げているか →脚を一步前を出して投げているか	35分	・前時の活動2の取組の反省を行い、本時の活動のめあてをもたせるようにする。 ・活動の場は、前時の活動の三つの場で児童相互（二人～三人一組）で見合ったり教え合ったりしながら、投運動を繰り返し行えるようにする。また、投動作のリズムやフォームを意識しながら取り組めるようにし、投動作の習熟が図れるようにする。 ・二人～三人一組で三つの全ての場で運動することができるようにする。 ・活動に入る前に、左記の「リズムを確かめるポイント」と「フォームを確かめるポイント」を示し、ポイントができていない児童は、友達からはなまるシールがもらえることを説明する。 ・教師は全体の児童の活動を見守りながら、ボールを力強く（強く・速く・遠くへ）投げているかチェックするようにする。 ・児童相互だけでは活動が上手に進まない場合には、個別で支援するようにする。 ・片付けは児童相互で協力して行えるように指示を明確に示すようにする。 (評価項目) ◆投動作のリズムやフォームを確かめながら、ボールを力強く（強く・速く・遠くへ）投げることができる。 ◇投動作の大切な動きを身に付け、投動作のリズムやフォームを確かめながら、ボールを力強く（強く・速く・遠くへ）投げることができる。 【運動の技能】（観察）
<本時のまとめをする> 6 整理運動、まとめをする。 ・本時における自己の学習について振り返り、学習カードに本時で学んだこと、できたことなどを記入するとともに、次時の学習内容について確認する。	5分	・本時の学習の充実感が味わえるように、全員のがんばりを賞賛する。 ・学習カードの自己評価欄に、本時の自己評価と学習の成果を記述させることにより、本時の学習での自己の高まりを振り返ることができるようにするとともに、次時の学習の見通しをもたせる。

本時の学習（第5／5時） ※10／12（金）13:50～14:35

(1)ねらい ・友達と協力して、安全に気を付けながら記録測定ができるようにする。

（運動への関心・意欲・態度）

・ソフトボール投げの測定方法を知り、記録が伸びる方法を考えることができるようにする。

（運動についての思考・判断）

・今もっている技能で、ソフトボールを投げることができるようにする。（運動の技能）

(2)準備 1号ボール、メジャー、ラインカー、学習カード、デジタルカメラ、三脚

(3)展開 （◆は「おおむね満足できる」状況、◇は「十分満足できる」状況）

学習活動	時間	指導上の留意点及び支援・評価
<p><本時の課題をつかむ></p> <p>1 集合、整列し、挨拶をする。</p> <p>2 準備運動や補助的な運動をする。</p> <p>3 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ソフトボールを投げる力を測定してみよう！</div>	5分	<ul style="list-style-type: none"> 健康観察をする。 前時までの学習を振り返り、活動内容を確認する。 単元及び本時の活動について説明し、本時の活動の見通しをもたせる。
<p><技能や知識を習得する活動を行う></p> <p>4 学び合い活動（活動1）</p> <p>①測定方法を知る。</p> <p>②練習をする。</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> 新体力テストの要項のとおり、ソフトボール投げの行い方や注意点を説明する。 この測定は現在の自己の投げる力を把握するために実施し、今回も一人一人の投動作を撮影することを伝える。 記録が伸びる方法を自分なりに考えながら、練習に取り組むよう助言する。 練習は、二人～三人一組でキャッチボールを行い、思い切り投げる準備をしっかりと行わせる。
<p><習得した技能や知識を活用する活動を行う></p> <p>5 やってみる活動（活動2）</p> <p>①4年生の記録を測定をする。同時に投動作の撮影を行う。</p> <p>②3年生の記録を測定をする。同時に投動作の撮影を行う。</p>	25分	<ul style="list-style-type: none"> 皆で協力して、安全に気を付けながらソフトボール投げの測定を行うよう助言する。また、4年生が投げる時は、3年生がボール拾いをすることや、3年生が投げる時は、4年生がボール拾いをすることを明確に伝える。 投げる順番を待っている時は、投げている友達を応援したり、励ます声かけをするよう助言する。 デジタルカメラでの撮影は教師が行い、2回投げる児童の姿を一人一人連写で撮影し、今後の学習に生かせるようにする。 自己の記録は、学習カードに記入して、自分もっている技能（記録）を把握できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>（評価項目）</p> <p>◆今もっている技能で、自分なりにソフトボールを投げることができる。</p> <p>◇今もっている技能を出し切って、ソフトボールを投げることができる。 【運動の技能】（観察）</p> </div>
<p><本時のまとめをする></p> <p>6 整理運動、まとめをする。</p> <p>・本時における自己の学習について振り返り、学習カードに本時で学んだこと、できたことなどを記入するとともに、次時の学習内容について確認する。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習の充実感が味わえるように、全員のがんばりを賞賛する。 学習カードの自己評価欄に、本時の自己評価と学習の成果を記述させることにより、本時の学習での自己の高まりを振り返ることができるようにするとともに、次時の学習の見通しをもたせる。